

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	久留米市家庭教育支援チーム (呼称: 久留米市家庭教育支援チーム「ふく rin 子育て」)
②活動拠点	家庭倫理の会久留米市 事務所 (久留米市野中町920-2)
③活動範囲	久留米市・八女市
④組織体制	__ 20 人 内、生活倫理相談士 8名、その他サポーター 12名
⑤活動開始年度	平成20年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 久留米市家庭教育支援チーム「ふく rin 子育て」 矢野 香世 (TEL)0942-32-3006 (E-mail)cafedekrh@gmail.com

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 ・「ふく rin 子育てセミナー」の開催 私たちの活動する「ふく rin 子育てセミナー」は、明るく輝いて子育てをして頂きたい、という思いから名付けました。 子供達は、太陽のようなパパ、ママが大好きです。 現在セミナーは、公共の場をお借りして久留米市で開催しています。 妊婦さんから子育て中の保護者を対象としています。 毎回、子育てに関する身近なテーマに沿った(一社)倫理研究所の講師の講話の後、初対面の保護者同士で悩みの共有や子育てについて話し合う時間を設け、その後、講師より、その日の話し合いで出た質問、疑問を聞いて、アドバイスを受けたりします。

セミナーの様子



セミナー内で、個人からの生活倫理相談も出来ます。

・併せて、参加者の託児を無料で行っています。

季節ごとの行事、工作等をサポーターの協力の下、出来るだけ子供の自主性を伸ばせるように楽しく学べる場になっています。

託児の様子



これらの企画は、年度初めに決定し実行しています。

行事は、久留米市からの後援を頂き、久留米市内の小学校へチラシの配布を行っています。

④活動の成果

(活動実績がある場合)

・「ふくrin子育てセミナー」では、参加した方々が「そう考えればいいんだ」「自分の気持ちなどを話して、また話を聞いてスッキリした」等の感想が多くあり。スッキリとした笑顔で子供達と一緒に帰られます。実際に講義で聞いたことを実践し、夫の変化や子供達の成長を実感できたとの報告される方が多くおられます。

子育ての悩みがある時などには、すぐ個人相談も出来るので実践によって悩みの期間が長引かなくなりました。

・託児では季節ごと、父母へ感謝のプレゼント作り、子供短歌、万華鏡作り、年賀状づくりなどをして、楽しく学んだり、仲良く遊んだりしています。

パパ、ママが学び成長する事によって、仲間との協調性も育ち、積極的になり、明るい挨拶や返事が身についています。

⑤活動財源

文部科学省補助事業(事業名:)

文部科学省委託事業(事業名:)

厚生労働省事業(事業名:)

地方公共団体単独事業として実施

特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)

その他の支援により活動を実施

()